夢追人Ⅲ

かとう学園　宗像市立河東中学校
学校通信8号（R2. 1. 16）

① 新しい年、新しい「チーム河東」がスタートしました

■6日（月）、宗像市内の小中学校では3学期始業式を行いました。冬休み期間中、河東中の生徒が大きな事件や事故に巻き込まれることなく、新年及び3学期の始業式を迎えることができたことに職員一同感謝しております。

■さて、始業式では小宮校長が1年間の“締めの学期”として、次のように生徒の皆さんに目標を提示しました。

> ☆２学期の成果である「笑顔で伝えて、笑顔で応える。そして周りの人まで笑顔にする。」を生かしながら、３学期は『自信やプライドが見える笑顔』を目指してほしい。

ノーベル化学賞受賞の吉野　彰さんの言葉を借りて、「次は絶対にここまで到達する」という「執着心」をもって、「粘り強さ」を発揮して、『自信やプライドが見える笑顔』をつくってほしいことを伝えました。ぜひ実行して、河東中校区に更なる笑顔を広げることを期待しています。

② 次代の「チーム河東」のリーダーへバトンタッチ

■6日（月）の始業式に引き続き、新旧生徒会役員交代式が行われました。新役員の紹介・任命・挨拶の後、旧役員の挨拶・花束贈呈が行われました。新生徒会役員のみなさんからは、緊張の中にもこれからの活躍が期待できるやる気に溢れた表情をうかがい知ることができました。第34代の役員のみなさん、本当にお疲れさまでした。そして、1年間の素晴らしい活躍を高く評価し、お礼を申し上げます。

第３４代生徒会役員のみなさん

■第34代生徒会役員の志を引き継ぎ、新たな「チーム河東」を中心となって創っていく、第35代生徒会役員のみなさんを紹介します（右図参照）。

第35代生徒会役員の皆さんは、冬休みの12月25日（水）に「生徒会リーダー研修会」を開催し、リーダーに必要な資質やリーダーの役割、これから1年間の生徒会の目標や活動方針について研修を行いました。

■そこで今回は、新役員を代表して、生徒会長および副会長の期待と決意を紹介します。

第３５代生徒会役員

【会長】　久保田 心愛（２－５）
【副会長】林　佳佑（２－４）、元兼 沙幸（２－２）
【書記】　押井　禅（２－３）、相川 美桜（２－５）
　　髙瀬 航海（１－２）、新福 夏希（１－３）
【生活委】水竹 尚吾（２－１）、木原 里彩（２－５）
【体育委】木下 心克（２－１）、長谷 朱音（２－４）
【文化図書委】最所 晴也（２－４）、中本 遙（２－２）
【環境委】綿島 吏輝（２－５）、石田 和佳子（２－３）
【給食委】澤邉 友音（２－１）、立川 美友（２－１）
【保健委】日髙 晃輔（２－２）、加來 翼咲（２－２）

【生徒会長　久保田 心愛 さん】

■僕が生徒会役員になって大切にしたいと思うことが２つあります。１つ目は、河東中学校のリーダーとして全校生徒を引っ張っていく大変さです。まだ、役員の皆をまとめることもできませんし、上手に司会進行をすることもできていません。この大変さをいつまでも忘れずに役割を果たしていきたいです。２つ目は、楽しさとありがたみを感じることです。役員だけでなくチーム河東の皆と色々な意見を出し合いながら、面白い案を考え出したり、それを一緒に実現していったりする楽しさ。さらには、それを仲間や先生と共に行動するありがたみをみんなで感じていきたいです。これから今まで以上に河東中学校を良くしていくために積極的に行動していきます。

【副会長　元兼 沙幸 さん】
■こんにちは、副会長になりました元兼 沙幸です。私は河東中学校を「あいさつのできる学校」にしたいと考えています。あいさつはコミュニケーションの始まりです。様々な場面や出会いのきっかけにもなります。また、あいさつをする気持ちが相手に通じ、人を動かすことになります。そして、それが良いつながりとなっていくと私は考えています。あいさつには、このような力があると思います。私はまず、自分から気持ち良いあいさつを実践し、あいさつの良さやその力を河東中のみんなに伝えていきたいと思います。１年間精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

【副会長　林　佳佑 さん】
■自分が生徒会副会長として考えている抱負は、「河東中に新たな動きを！」です。自分は型にはまるのは嫌だと思っています。自分が副会長になったからには自分にしかできないことを実現したいと考えています。“例年通り”の活動だと、生徒会のリーダーは誰でもよいと思います。生徒会活動には、今後、自分にしかできないことをどんどん積極的に取り組んでいく場がたくさんあると思うので、“常に新しいアイデアや動き”を取り入れていく想いを忘れずに副会長として頑張っていきます。みなさん、よろしくお願いします。

③ 文化・図書委員会　秋のブックフェア取り組み

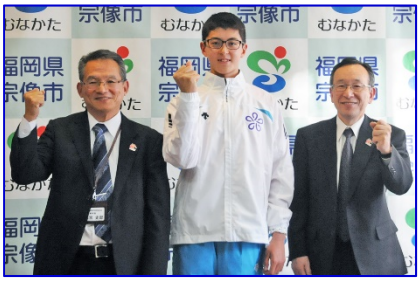
■文化・図書委員会では11月と12月に秋のブックフェア(秋の読書週間)の取り組みイベント編では、「読書会」・「科学で遊ぼう」・「ミニビブリオバトル」を行いました。

「科学で遊ぼう」は科学の本や図書館に興味を持ってもらうのがねらいです。委員が1ヶ月かけて準備をし、「新聞紙ドーム」以外はリハーサルも行い当日を迎えました。40名近くの人が参加してくれて、委員も交代で体験したので約 70 名の参加となりました。目玉は「新聞紙ドーム」です。2年生が昼休み毎図書館に通って作っていましたが、最後は1・3年生の力を借りて仕上げました。生徒が3人入っても余裕の大きさです。扇風機を強にして風を送っているのですが、奥に入ると風が気にならないと不思議そうでした。

新生徒会でも、学校司書の白石先生と協力して、このような取組を充実・発展させてくれることを期待しています。

④ 全国都道府県対抗駅伝大会に出場します

■メール配信でもお知らせしましたように、19日(日)に広島市とその近郊で行われます“天皇盃　第25回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会”に、福岡県を代表して河東中学校3年生の山本凌舞さんが、第6区に出場します。そこで、山本さんの大会に向けての決意を紹介します。



宗像市表敬訪問(高宮教育長・久芳副市長と)

■私は中学１年生の時から都道府県対抗駅伝に出場しようと、顧問の髙橋先生と決意し、３年間頑張ってきました。今回、広島の舞台で走ることが決まった瞬間はとても嬉しかったです。しかし、出場することをゴールと思わず、福岡県代表、河東中代表として、宗像人としてふさわしい走りをしてきます。本番当日にベストな走りができるように、体調管理を徹底し、調整をして頑張ります。１月１９日(日)は１２時３０分に第１区がスタートし、私は第６区を走ります。最後まで粘って諦めずに走りますので、応援よろしくお願いします。

当日、12時15分からNHK総合でテレビ中継の予定です。応援、よろしくお願いします！